

教科・種目名 図画工作

採 択 基 準	基 本 観 点	発 行 者 名
		9 開隆堂
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫 別表 1	題材ごとに、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に対応した学習のめあてを示している。またそれぞれに対応するキャラクターが、造形活動を深める視点を示すことにより、題材を身近に感じて活動できるよう工夫している。 学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容をバランスよく配分している。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表 2	児童の感覚や行為を大切にしたい題材を扱い、造形的な視点が理解できるよう図っている。低・中・高学年と経験を重ねていけるよう、題材が配置されている。 題材ごとに、「知識及び技能」の学習のめあてが示され、表現活動中の写真とキャラクターによる造形活動を深める視点を吹き出しで示している。 巻末の「造形の引き出し」で、各学年に応じた用具・材料の知識や使い方を示している。題材によって、必要な技法や使い方のリンクページを示したり、QRコードによるコンテンツを設けたりしている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表 3	多くの作品を例示し、視覚的に活動内容が捉えられるようにするとともに、児童が思ったことや工夫したことを会話文で示すなど、言語活動も伴いながら発想や構想をしたり、鑑賞したりする思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。
	(3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表 4	題材ごとに対話をしている写真や会話文が多く例示してあり、対話的な活動を通して学習を深められるように工夫している。また、題材ごとにめあてを明確に示し、視覚的に活動内容が捉えられるようにするとともに、発想したりや構想したりする意欲を引き出せるように工夫している。 題材ごとに「ふりかえり」コーナーが設けられ、児童が学びを自覚することで主体的な学びにつなげられるよう工夫している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表 5	「みんなのギャラリー」や「つながる造形」というページを設け、幼小連携や小中連携できるように工夫している。
	(5) 他の教科等との関連 別表 6	全体を通して、他教科や総合的な学習の時間と関連する題材が多く掲載されている。特に、他教科、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳との関連を「あわせて学ぼう」として示しており、カリキュラム・マネジメントの視点を明確にしている。 各巻に「みんなのギャラリー」というページを設け、地域とのつながりや伝統文化に関する内容を示している。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表 7	各題材の題材名を活動内容と関連付けたデザインで表記している。 各書名にそれぞれ題が付けられており、題字は各学年で使用する材料を使用して表現されている。 写真、図、文字などを大小メリハリのついた分かりやすいレイアウトにし、誰にでも分かりやすいマークや色遣いを工夫している。

		発 行 者 名
		116 日文
		題材ごとに、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」に対応した学習のめあてを示している。またそれぞれに対応するキャラクターが、造形活動を深める視点を示すことにより、題材を身近に感じて活動できるよう工夫している。 学習指導要領に示された表現及び鑑賞領域の内容がバランスよく配分している。
		児童の感覚や行為を大切にしたい題材を扱い、造形的な視点が理解できるよう図っている。低・中・高学年と経験を重ねていけるよう、題材が配置されている。 題材ごとに、「知識及び技能」の学習のめあてが示され、表現活動中の写真とキャラクターによる造形活動を深める視点を吹き出しで示している。 巻末の「使ってみよう 材料と用具」で、各学年に応じた用具・材料の知識や使い方を示している。
		多くの作品を例示し、視覚的に活動内容が捉えられるようにするとともに、児童が思ったことや工夫したことを会話文で示すなど、言語活動も伴いながら発想や構想をしたり、鑑賞したりする思考力・判断力・表現力等の育成を図っている。
		題材ごとに対話をしている写真や会話文が多く例示してあり、対話的な活動を通して学習を深められるように工夫している。また、題材ごとにめあてを明確に示し、視覚的に活動内容が捉えられるようにするとともに、発想したりや構想したりする意欲を引き出せるように工夫している。
		「ひらめきポケット」というページを設け、身近にある物などを手や体を動かして、実際にもっとこうしたいと試したくなるような工夫や学習したことが発展的に普段の生活に生かされるように配慮している。
		全体を通して、他教科や総合的な学習の時間と関連する題材が多く掲載されている。特に、特別の教科 道徳は、「ふくろう」マークを付けて示している。 各巻に「図画工作のつながりひろがり」というページを設け、地域や世界とのつながりを示している。
		各題材の題材名を活動内容と関連付けたデザインで表記している。 全ての題材が見開き2ページとなるように誌面構成されているので見やすく、題材のイメージや活動の見通しを持ちやすい。 写真、図、文字などを大小メリハリのついた分かりやすいレイアウトにし、誰にでも分かりやすいマークや色遣いを工夫している。

教科・種目名 図画工作 調査研究事項
別表 1

調査項目		9 開隆堂
内容のまとめ(ごと)に取り上げられている題材数(ページ数)等	材料を基に造形遊びをする活動の配分と配列	◇低学年においては、47題材中8題材13ページ配分している。 ◇中学年においては、38題材中4題材8ページ配分している。 ◇高学年においては、34題材中4題材8ページ配分している。 ◇自然材料や人工材料など、材料をもとにした活動(全学年)と、材料の造形的な操作をもとにした活動(全学年)に分類し、児童が自ら材料や場所に働きかけ、発想していく活動が、バランス良く配列している。
	感じ取ったこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことを絵や立体、工作に表す活動の配分と配列	◇低学年においては、47題材中37題材55ページ配分している。 ◇中学年においては、38題材中32題材60ページ配分している。 ◇高学年においては、34題材中28題材52ページ配分している。 ◇絵に表す活動は、「造形要素から発想する題材」「想像したことを表す題材」「経験や見たことをもとに表す題材」「人と関わる題材」「造形要素を中心とした短時間の題材」「版に表す題材」の6つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。 ◇立体に表す活動は、「粘土で表す題材」「様々な材料で表す題材」の2つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。 ◇工作に表す活動は、「使うものを作る題材」(中・高学年)「遊ぶものを作る題材」(全学年)「飾るものを作る題材」(全学年)「伝え合うものを作る題材」(中・高学年)の4つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。
	作品などを鑑賞する活動の配分と配列 (自分たちの作品、身の回りの作品、身近な美術作品、製作の過程、我が国や諸外国の親しみのある作品、生活の中の造形などの鑑賞対象の内訳)	◇低学年においては、47題材中2題材8ページ配分している。 鑑賞対象の数：自分たちの作品(5)、身近な美術作品(5)、製作の過程(8)、我が国や諸外国の親しみのある作品(3) ◇中学年においては、38題材中2題材8ページ配分している。 鑑賞対象の数：自分たちの作品(14)、身近な美術作品(1)、製作の過程(6)、我が国や諸外国の親しみのある作品(7) ◇高学年においては、34題材中2題材8ページ配分している。 鑑賞対象の数：自分たちの作品(4)、身近な美術作品(2)、製作の過程(0)、我が国や諸外国の親しみのある作品(13) ◇各学年1題材につき4ページに渡り、発達段階に応じた作品等と、それを紹介している様子を紹介している。 ◇「わくわくするね」や「できたらいいな」などの学年に応じた巻頭の図版、「みんなのギャラリー」で、我が国や諸外国、自分たちの作品など幅広く図版で紹介している。 ◇全体を通して「自分たちの作品」や「製作の過程」、「我が国や諸外国の親しみのある作品」を掲載している。
	「A表現」「B鑑賞」領域の関連付け	◇表現や鑑賞の活動において、子どもをつぶやきを写真に吹き出しで示したり、キャラクターの吹き出しで造形的な視点を示したりして、表現と鑑賞の関連が図れるよう配慮している。 ◇「こころのはなをさかせよう」(1・2年上)や「みんなでおん・ステージ」(3・4年上)などつくった作品を集めて全体で鑑賞する活動を通して、コミュニケーションを図りながら表現と鑑賞が往還する題材を提示している。 ◇高学年の「つながる造形」は、美術作品や自分たちの作品を通して、作品にこめられた思いや願いを感じ取ったり、思いや願いを込めて作品作りをしたりすることに気付かせている。

116 日文	
◇低学年においては、47題材中9題材18ページ配分している。 ◇中学年においては、46題材中9題材18ページ配分している。 ◇高学年においては、41題材中5題材10ページ配分している。 ◇材料をもとにした活動(低・中学年)、場所や環境を生かした活動(中・高学年)、体全体を働かせながら活動するもの(低・中学年)に分類し、児童が自ら材料や場所に働きかけ、発想していく活動が、バランス良く配列している。	
◇低学年においては、47題材中34題材68ページ配分している。 ◇中学年においては、46題材中34題材68ページ配分している。 ◇高学年においては、41題材中32題材64ページ配分している。 ◇絵に表す活動は、「材料や用具に触れながら思い付いたことを表す題材」「日常生活で描きためたことから表す題材」「生活経験から表す題材」「想像したことから表す題材」「物語などから感じたこと、想像したことを表す題材」「版に表す題材」の6つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。 ◇立体に表す活動は、「材料や用具に触れながら思いついたことを表す題材」「感じたこと想像したこと、見たことから表す題材」の2つに分類し、それぞれに、粘土を扱ったものと様々な材料を扱ったものに分け、全学年を通してバランス良く配列している。 ◇工作に表す活動は、「飾るもの・使えるものを作る題材」(全学年)「遊ぶもの・仕組みから思い付いたものを作る題材」(全学年)「伝え合うものを作る題材」(中・高学年)の3つに分類し、全学年を通してバランス良く配列している。	
◇低学年においては、47題材中4題材8ページ配分している。 鑑賞対象の数：自分たちの作品(28)、身近な美術作品(5)、製作の過程(29)、我が国や諸外国の親しみのある作品(0) ◇中学年においては、46題材中3題材6ページ配分している。 鑑賞対象の数：自分たちの作品(2)、身近な美術作品(0)、製作の過程(25)、我が国や諸外国の親しみのある作品、(4) ◇高学年においては、41題材中4題材8ページ配分している。 鑑賞対象の数：自分たちの作品(13)、身近な美術作品(3)、製作の過程(15)、我が国や諸外国の親しみのある作品(7) ◇色を作る・並べる・ポーズをとるなど、手や体を動かして鑑賞活動する様子を写真で紹介している。 ◇「教科書美術館」「ひらめきポケット」「図画工作のひろがりつながり」で、我が国や諸外国、自分たちの作品など幅広く図版で紹介している。 ◇全体を通して「自分たちの作品」や「製作の過程」、「我が国や諸外国の親しみのある作品」を掲載している。	
◇表現や鑑賞の活動において、子どもをつぶやきを写真に吹き出しで示したり、キャラクターの吹き出しで造形的な視点を示したりして、表現と鑑賞の関連が図れるよう配慮している。 ◇中学年・高学年は、児童作品に作者の言葉が色地のコメントシートで添えられており、表現と鑑賞の関連が図れるよう配慮している。 ◇「図画工作のつながりひろがり」は、美術作品や自分たちの作品を通して、作品にこめられた思いや願いを感じ取ったり、思いや願いを込めて作品作りをしたりすることに気付かせている。	

教科・種目名 図画工作 調査研究事項
別表2

調査項目	9 開隆堂
表現及び鑑賞の活動を通して、〔共通事項〕アに示す内容を〔共通事項〕イと関連付けながら、自分の感覚や行為を通して理解する配慮	<p>◇児童が、色や形などの造形的な視点で捉えたり、自分のイメージをもちながら作ったり見たりする場面を紹介することで、児童が自分の感覚や行為を通して知識を理解できるように配慮している。</p> <p>◇全身の感覚を使って材料や道具に触れる題材が設定され、造形活動中の写真を多く掲載し、児童が自分の感覚や行為を通して理解できるよう配慮している。</p> <p>◇題材によって、〔共通事項〕に関する気付きを促す投げかけを、キャラクターの吹き出しで示している。</p> <p>◇巻頭2ページに、「わくわくするね」「みつけたよ」など、各学年に応じたテーマで、身近な材料や美術作品などを味わう題材を図版で紹介している。</p> <p>◇各巻の「ひらめきコーナー」は、紙や、紙でできた身近なものを主材料にした作品を紹介している。</p> <p>◇児童作品に添えられた作者の言葉からも、〔共通事項〕アの知識と自分のイメージを関連付けて学習したことに気付くことができるよう配慮している。</p>
発達段階に応じた材料や用具とその取り扱いの配慮	<p>◇巻末の「造形の引き出し」で、各学年に応じた用具・材料の知識や使い方を示している。</p> <p>◇各題材で使用する材料や道具の例をイラストで示している。</p> <p>◇題材によって、「安全」のコーナーを設け、安全に活動できるよう配慮している。</p> <p>◇造形活動の一環として「かたづけ」のコーナーを設けている。</p> <p>◇題材制作の手順やポイント、用具の使い方を学ぶ、QRコードによるコンテンツを設けている。</p>

116 日文
<p>◇児童が、色や形などの造形的な視点で捉えたり、自分のイメージをもちながら作ったり見たりする場面を紹介することで、児童が自分の感覚や行為を通して知識を理解できるように配慮している。</p> <p>◇全身の感覚を使って材料や道具に触れる題材が設定され、造形活動中の写真を多く掲載し、児童が自分の感覚や行為を通して理解できるよう配慮している。</p> <p>◇題材によって、〔共通事項〕に関する気付きを促す投げかけを、キャラクター「ちろたん」の吹き出しで示している。</p> <p>◇巻頭の「教科書美術館」で、身の回りのものから美術作品まで幅広く図版で紹介している。</p> <p>◇各巻の「ひらめきポケット」は、「さわる」「ならべる」などのテーマで、色や形の世界を図版で紹介している。</p> <p>◇児童作品に添えられた作者の言葉からも、〔共通事項〕アの知識と自分のイメージを関連付けて学習したことに気付くことができるよう配慮している。</p>
<p>◇巻末の「使ってみよう 材料と用具」で、各学年に応じた用具・材料の知識や使い方を示している。用具を扱う際のポイントを、「ポイント」のコーナーで示している。</p> <p>◇各題材で使用する材料や道具の例をマークで示している。</p> <p>◇題材によって、用具の使い方を紹介しているページへのリンクを示している。</p> <p>◇題材によって、「きをつけよう」という囲みコーナーを設け、安全に活動できるよう配慮している。</p> <p>◇造形活動の一環として「かたづけ」のコーナーを設けている。</p>

別表3

調査項目	9 開隆堂
知識・技能を活用して、発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を深めたりする学習活動を充実させる配慮	<p>◇材料や場の設定をバリエーション豊かに写真で紹介し、発想や構想に結びつけやすいようにしている。</p> <p>◇1つの題材でも、材料や構想の異なる作品を紹介し、思考を広げられるよう配慮している。</p> <p>◇例示作品や吹き出しに作者の思いや工夫したことを示し、発想や構想の支援となるよう配慮している。</p> <p>◇見方・考え方を働かせてヒントを伝えたり、児童の発見を認めたりすることで、見方や感じ方が深まるように配慮している。</p> <p>◇3・4年下の巻末にある「学びの資料」「発想を広げよう」に、何かを付け加えることや組み合わせ方を工夫することや連想することなどを紹介している。</p>
スケッチ等も含む図画工作科の特質に応じた言語活動によって、思考力・判断力・表現力等の育成を図る配慮	<p>◇友だちとの関わりをもたせながら題材に取り組むように計画しており、言語による交流が自然に生まれるよう配慮している。</p> <p>◇隣同士や自分自身と対話している様子を写真や吹き出しの言葉で具体的に例示している。</p> <p>◇特に、思考力・判断力・表現力等の育成を中心的な学習課題に設定した題材では、キャラクターの「ひらめきさん」の吹き出しが思考を深める手がかりになっている。</p>

116 日文
<p>◇材料や場の設定をバリエーション豊かに写真で紹介し、発想や構想に結びつけやすいようにしている。</p> <p>◇1つの題材でも、材料や構想の異なる作品を紹介し、思考を広げられるよう配慮している。</p> <p>◇例示作品や吹き出しに作者の思いや工夫したことを示し、発想や構想の支援となるよう配慮している。</p> <p>◇見方・考え方を働かせてヒントを伝えたり、児童の発見を認めたりすることで、見方や感じ方が深まるように配慮している。</p>
<p>◇友だちとの関わりをもたせながら題材に取り組むように計画しており、言語による交流が自然に生まれるよう配慮している。</p> <p>◇隣同士や自分自身と対話している様子を写真や吹き出しの言葉で具体的に例示している。</p> <p>◇特に思考を深めたい活動では、クレヨンのキャラクター「ちろたん」の吹き出しが、思考を深める手がかりになっている。</p>

教科・種目名 図画工作 調査研究事項

別表 4

調査項目	9 開隆堂
児童自らが主体的に学び、対話的な活動によって学習を深めることができる配慮	<p>◇題材ごとに三つの学習のめあてを提示することで、見通しをもって活動に取り組むことができるように配慮している。</p> <p>◇どの学年においても、自分と対話する様子、隣同士で対話する活動、指導者と対話する活動、全体で交流する活動などを多く例示することで、学習を深められるよう配慮している。</p> <p>◇題材ごとに「ふりかえり」のコーナーを設け、対話を通して見方や感じ方が深められるように配慮している。</p> <p>◇各巻末のページでは、児童がさらに深い学びができるような対話を通じた活動を紹介している。</p>

116 日文
<p>◇題材ごとに三つの学習のめあてを提示することで、見通しをもって活動に取り組むことができるように配慮している。</p> <p>◇児童の作品に自分の思いを込めたコメントがあることで、作品への見方が深まることができるように配慮している。</p> <p>◇対話をしながら活動する様子を紹介し、児童のコメントを吹き出しで表すことで、作者の意図やよさを感じることができるように配慮している。</p>

別表 5

調査項目	9 開隆堂
発展的な学習や今日的な課題を行う際に取り上げる資料や扱いにおける配慮	<p>◇造形遊びで表現したものを使って新たな活動に発展させる工夫がされている。(1・2年上 P35、3・4年上 P47)</p> <p>◇材料をもとにした造形遊びでは、地域や学校の実態に応じて、使う材料の選択ができるように配慮している。(1・2年下 P25 5・6年上 P29)</p> <p>◇「みんなのギャラリー」のページでは、幼稚園の子どもたちと一緒に活動する様子を例示したり(1・2年上 P48)、幼稚園などで行われているスタンプ遊びの題材を取り入れたりする(1・2年上 P34~P35)など、幼小連携に配慮している。</p> <p>◇中学年以上で掲載されている「つながる造形」のページでは、中学生と一緒に活動する様子や中学生の作品を鑑賞する様子を写真で例示し、小中連携に配慮している。</p> <p>◇「つながる造形」のページでは、コンピュータを使ったプログラミング教育に関係する事例を取り上げている。</p> <p>◇プログラムをつくる事例やプログラミングによって映像作品をつくる事例、プログラミング的思考を養える事例を紹介している。</p>

116 日文
<p>◇題材のページの最後に「活動の後で考えてみよう」の項目があり、自分自身の作品をふり返ったり、他のことでも生かしたりすることができるように配慮している。</p> <p>◇各学年の「ひらめきポケット」のページでは、身近にある物などを手や体を動かして、実際に試したくなるような作品を紹介し、学習したことが普段の生活に生かされるように配慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では、「さわる」「ならべる」をテーマに体全体を使って表現したいと思うことができる作品を紹介している。 ・中学年では、「つなげる」「組み合わせる」をテーマに表したいことや用途などを考えながら表現したいと思うことができるような作品を紹介している。 ・高学年では、「分ける」「見る」をテーマに普段の生活では見ることができない視点を与え、意欲的に活動したくなるような作品を紹介している。 <p>◇5・6年下巻末の「使ってみよう 材料と用具」のページでは、情報の受信・発信における情報モラルについて説明するコーナーが設けられている。</p> <p>◇プログラミング的思考を育むため、仕組みの動きを基に思いついたものをつくる活動や表したいものを実現するために手順や組み合わせを論理的に考えられるように工夫している。</p>

教科・種目名 図画工作 調査研究事項
別表 6

調査項目	9 開隆堂
他教科との関連付け（関連を示す印）などの配慮	<p>◇低学年では、生活科との関連を図り、身体性を伴う造形活動や身近な自然や友達との関わりを大切にする題材を設定している。</p> <p>◇他教科と関連のある題材はページ下に「あわせて学ぼう」として教科名を示しているため、関連教科がわかりやすく、カリキュラム・マネジメントしやすい。</p> <p>◇各題材に関連する色や形、材料や用具を英単語で表記されている。「QR」と書かれている単語はQRコードを読み取るとその単語が音声で表現される。（日本語と英語）</p>
総合的な学習の時間との関連への配慮	<p>◇季節や自然と関わることと関連付けることが考えられる。</p> <p>◇各巻に「みんなのギャラリー」というページを設け、図画工作科の学習と地域とのつながりや伝統文化に関する内容を掲載している。</p> <p>◇高学年では「つながる造形」というページを設け、作品を通じたコミュニケーションやオリンピック・パラリンピックのこと、震災からの復興や自分の将来などを考えられる。</p>
特別の教科 道徳との関連への配慮	<p>◇全ての題材が、つくり出す喜びを味わうことができるように配慮され、美しいものや崇高なものを尊重する心につながるものになっている。</p> <p>◇イラスト「こころさん」で示している「学びに向かう力、人間性等」に関する目標が主な目標として強調されている題材は、特に、特別の教科 道徳とも関連しており、「あわせて学ぼう」でも関連する教科として示している。</p> <p>◇掲載されている写真が友達同士で協力したり関わりをもったりしているものが多い。</p>

116 日文
<p>◇低学年では、生活科との関連を図り、身体性を伴う造形活動や身近な自然や友達との関わりを大切にする題材を設定している。</p> <p>◇特にしるしなどで明確に示していないが、他教科での学習を生かしたり、他教科と関連付けたりした題材や事例を掲載し、教科等横断的な視点でカリキュラム・マネジメントできるように配慮している。</p>
<p>◇季節や自然と関わることと関連付けることが考えられる。</p> <p>◇各巻に「図画工作のつながりひろがり」というページを設け、校内でできること、地域でできること等写真を取り入れて紹介したり、「5・6年上」ではピクトグラムを紹介したりするなどユニバーサルデザインの視点も持てる。</p> <p>◇「外国の友達の作品」を紹介し、国際理解教育の視点を持てるようにしている。</p>
<p>◇全ての題材が、つくり出す喜びを味わうことができるように配慮され、美しいものや崇高なものを尊重する心につながるものになっている。</p> <p>◇特に、特別の教科 道徳と深く関連する題材にはページ番号の上に「ふくろう」のイラストを示している。</p> <p>◇掲載されている写真が友達同士で協力したり関わりをもったりしているものが多い。</p>

別表 7

調査項目	9 開隆堂
ユニバーサルデザイン化に向けた取組例	<p>◇題材名を活動内容と関連付けたデザインで表記している。</p> <p>◇写真や図による説明が多く、文字の大きさや色遣いを工夫した構成になっている。</p> <p>◇学習のめあてや「工作」「絵」などの分野を示すマークなどわかりやすいマークや色遣いで示している。</p> <p>◇各題材の主な準備物や材料を文字と絵で表記している。</p>
作品例等、資料の取扱い	<p>◇学習内容に合った図版・写真を適切かつ効果的に使用している。</p> <p>◇学習内容や活動の仕方が視覚的に理解できるように児童の作品例や活動中の写真を多く取り入れている。</p>
	<p>◇短い言葉で分かりやすく説明している。</p> <p>◇写真、図、文字などを大小のめりはりをつけて見やすいレイアウトとなっている。</p> <p>◇全体的にバランスよく配置されている。</p> <p>◇「わくわくするね」「みつけたよ」など書名に題が付けられており、題字は各学年で使用する材料を使用して表現されている。また、その書名を受けてそれぞれの学年での1年間の図画工作科の学習に向けて、児童の意欲を喚起する導入ページを設けている。</p>
地域や学校の実態に合わせて活用できる構成	<p>◇題材が幅を持たせたものとなっており、指導者が自校の実態に合わせた活動内容（材料や場所を含める。）を考えられる。</p>

116 日文
<p>◇題材名を活動内容と関連付けたデザインで表記している。</p> <p>◇写真や図による説明が多く、文字の大きさや色遣いを工夫した構成になっている。</p> <p>◇学習のめあてや「工作」「絵」などの分野を示すマークなどわかりやすいマークや色遣いで示している。</p> <p>◇各題材の主な準備物や材料を絵で表記している。文字は巻頭にまとめて表記している。</p>
<p>◇学習内容に合った図版・写真を適切かつ効果的に使用している。</p> <p>◇学習内容や活動の仕方が視覚的に理解できるように児童の作品例や活動中の写真を多く取り入れている。</p>
<p>◇短い言葉で分かりやすく説明している。</p> <p>◇写真、図、文字などを大小のめりはりをつけて見やすいレイアウトとなっている。</p> <p>◇全体的にバランスよく配置されている。</p> <p>◇全ての題材が見開き2ページで示されていて、題材のイメージや活動の見通しを持ちやすい構成になっている。</p>
<p>◇題材が幅を持たせたものとなっており、指導者が自校の実態に合わせた活動内容（材料や場所を含める。）を考えられる。</p>

